

# 歩行者と自転車を分離し、安全な通学路を確保！

～事故のない安心できる道路を目指して～

## 歩行者と自転車を分離した安全な道路になります

○歩道整備による日常の交通事故のリスク軽減！

○無電柱化による災害時の避難路確保！

**地域住民の災害時、平時を問わない安全な通行を確保します！**

【事業箇所付近交通量(H27センサス)】  
 歩行者： 330人(12時間あたり)  
 自転車： 287人(12時間あたり)  
 【歩行者が関連する事故件数】  
 3件(H25～H29)

### 【効果1】日常の安全性向上

○歩道と自転車専用通行帯整備により、歩行者、自転車の安全な通行スペースが確保され、通学時の学生や車いすを利用する高齢者でも安心して通行できるようになります。



### 【効果2】被災時の安全な通行空間確保

- 電柱・電線類を地中化することにより、被災時に電柱倒壊による道路閉塞を防ぐことができ、安全に通行できる避難路が確保されます。
- 緊急輸送道路が無電柱化されることにより、災害時に防災拠点（桐生厚生総合病院等）までの物資等の輸送がスムーズになります。



乱立する電柱・電線類

ストック効果